



洋光台北団地1-11号棟

本事業はURが横浜市と連携し、ディレクションに限研吾氏、佐藤可士和氏を迎えて行っている一部建替団地のモデル事業『ルネッサンスin洋光台』の1つである。

洋光台団地は、神奈川県横浜市に位置する1970（昭和45）年入居開始の3350戸の大団地であり、駅の周りの高層建物の洋光中央、緑豊かな洋光台北・西の3団地からなる。

洋光台駅は横浜からJRで約20分と交通の便がよいうえに駅からも近く、URの数ある団地の中でも比較的利便性に恵まれており、再編方針では、耐震性の低い高層棟を建て替える「一部建替団地」として位置づけられている。

本業務は北団地の3棟の高層棟のうち最初の建替事業となる。団地の再生と活性化を図る一環として、住棟の共用部に世代間交流・コミュニティーの活性化の場としての『ラウンジ』を併設している。ラウンジは、通り抜けピロティ空間と一体化して使用できるように計画し、国産材（不燃木）を仕上げ材に用いて暖かみのある空間としている。また、近田玲子デザイン事務所の協力により、あたたかなやさしさのある照明

所在地	神奈川県横浜市
発注者	UR都市機構
敷地面積	2728㎡（団地全体：76551㎡）
用途	共同住宅
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地上10階
延べ床面積	5126㎡
竣工年	2021年3月
住戸数	97戸

計画を実現している。